

1/20・21 聴覚障害者が制作した映像作品コンクール応募作品上映



画像は 2016 年度 第 13 回応募作品

第14回 さがの 映像祭

手話は言語～デフムービーって何だろう～

2018.1/20土・21日

同志社大学 寒梅館ハーディーホール
京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」2番出口より北へ60m

チケット (自由席) 前売券・当日券共通
一般: 2日券 1,500円 1日券 1,000円
学生: 2日券 1,000円 1日券 700円
 ※同志社法人内諸学校の園児・児童・生徒・学生教職員の方は入場無料

主催 第14回さがの映像祭実行委員会
 後援 同志社大学障がい学生支援室
 京都市 一般財団法人全日本ろうあ連盟



1/21 [日]
 13:00 上映
 こえ かたち
声の形
 日本語字幕・
 副音声付き

©大今良時・講談社/映画聲の形製作委員会

●映画「聲の形」に関するワークショップ 1/21 [日] 10:00～

スケジュール

司会：山本 紋子
(目で聴くテレビ
手話キャスター)

1/20 [土] 12:30 開場

ハーディーホール

13:00

映像作品コンクール
応募作品上映

18:00

12月下旬頃
詳細発表



全国手話研修センター
ホームページ内

1/21 [日] 9:30 開場

ハーディーホール

10:00

12:00

13:00

15:30

16:00

こえ かたち
映画 聲の形

映像作品コンクール
表彰式

クローバーホール

映像作品コンクール
応募作品上映

「会場特別賞」投票締切

地下A会議室

映画「聲の形」に
関するワークショップ

ワークショップ

- 入室 9:45~
- 定員40名(先着順)
お早目にお越しください

※当日の催し等は変更
になる場合があります

ロビー
手話や映像関係
の販売・展示を
します

出展団体募集中!



ガキ大将だった小学6年生の石田将也しょうやは、転校生の少女、西宮硝子しょうこへ無邪気な好奇心を持つ。「いい奴ぶってんじゃねーよ。」自分の想いを伝えられないふたりはすれ違い、分かり合えないまま、ある日硝子は転校してしまふ。

やがて5年の時を経て、別々の場所で高校生へと成長したふたり。あの日以来、伝えたい想いを内に抱えていた将也は硝子のもとを訪れる。「俺と西宮、友達になれるかな？」再会したふたりは、今まで距離を置いていた同級生たちに会いに行く。

止まっていた時間が少しずつ動きだし、ふたりの世界は変わっていったように見えたが――。

2016年公開 / 129分 / 監督:山田尚子 / 原作:大今良時 / 配給:松竹



「聲の形」に関するワークショップ
詳細は全国手話研修センターホームページにてお知らせします。お楽しみに!

【前売券の販売について】近畿6府県の、全日本ろうあ連盟加盟団体・全国手話通訳問題研究会支部・聴覚障害者情報提供施設等で販売予定です。近畿以外の方は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

第14回さがの映像祭実行委員会 事務局 (社会福祉法人 全国手話研修センター 企画課)
〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4
FAX 075-873-2647 TEL 075-873-2646 Email kikaku@com-sagano.com

同志社大学 寒梅館 ハーディーホール

京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103 (寒梅館地下1階)

- 京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」下車②番出口より北へ60m程。
- 駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。

さがの映像祭フェイスブック 10月より配信予定!

